

特別活動

特別活動主任

特別活動は、子供たちがよりよい学校生活をめざして自分の力を発揮する活動で、学級活動、児童会活動、クラブ活動、そして学校行事が含まれます。子供たちが、活動を通して、自分の役割を自覚したり、責任を果たしたりすることで、集団の一員としての自覚を深めることができるようになると思います。また、多様な考えがある中で、子供たち一人一人が仲間のよさを認め、自分のよさに気付くよう、私たちが働きかけることで、目指す学校の姿「豊かな人間性と生きる力を育む学校」の具現化を図ります。ここでは、児童会活動とクラブ活動について紹介します。

クラブ活動



今年度は、球技、パソコン、絵画工作、手作り、科学、テーブルゲームの6種類のクラブが設立されました。共通の興味・関心をもった4年生以上の子供たちが、それぞれのクラブに所属しています。

子供たちの話し合いによって、活動内容や役割分担が決められます。必要に応じて活動グループごとに話し合ったり、担当教員と打ち合わせをしたり、子供たちは自発的に取り組んでいます。

上級生は、下級生にあたたかい言葉をかけたり、準備や片付けを率先して行ったり、下級生の憧れの存在として輝いています。

児童会活動



委員会活動

高学年の全児童が、学校生活がより豊かなものになるように、活動しています。

「二小に通う全ての子供が、児童会の一員である」ことが意識できるよう、直接委員会に参加しない低学年児童にも活動内容が伝えられます。

議題箱に寄せられた声をもとに始まった「二松祭」も、定期的に行われるようになって二年目を迎えました。

縦割り班活動

1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生がそれぞれ班をつくり、朝の活動時間の他、年間2回のお楽しみ会を行っています。

上級生がリーダーとなり、学期ごとに遊びの計画を立てたり、振り返りをしたりしています。下級生の笑顔と、「ありがとう」の言葉が、上級生の活動への意欲を高めます。



縦割り班で取り組む奉仕活動



縦割り班お楽しみ会